

平成27年度 第1回 緩和ケアを学ぼう会アンケート 結果

◆日時 平成27年9月4日(金) 18:30~20:00 ◆会場 荘内病院 3階 講堂
◆参加人数 106名 ◆アンケート協力者 102名 (回答率 96%)

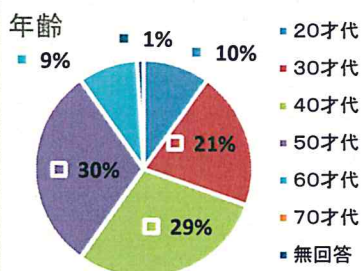
参加者の内訳 : 介護支援専門員 38、介護員 18、施設管理者等 8、看護師 6、
保健師・薬剤師・事務 5、歯科医師・理学療法士・作業療法士 4、医師 3、
歯科衛生士・社会福祉士 2、歯科助手・相談員 1

- 【内 容】 1. 特別講演「在宅医療での多職種連携の経験」
石橋内科胃腸科医院 院長 石橋 学 先生
2. フリーディスカッション

あなたご自身について

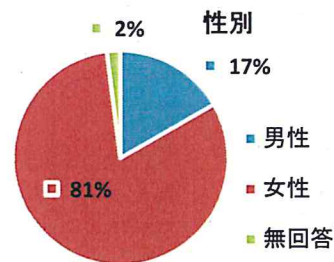
【年齢】

20代	10
30代	21
40代	30
50代	31
60代	9
70歳以上	0
無回答	1
	102



【性別】

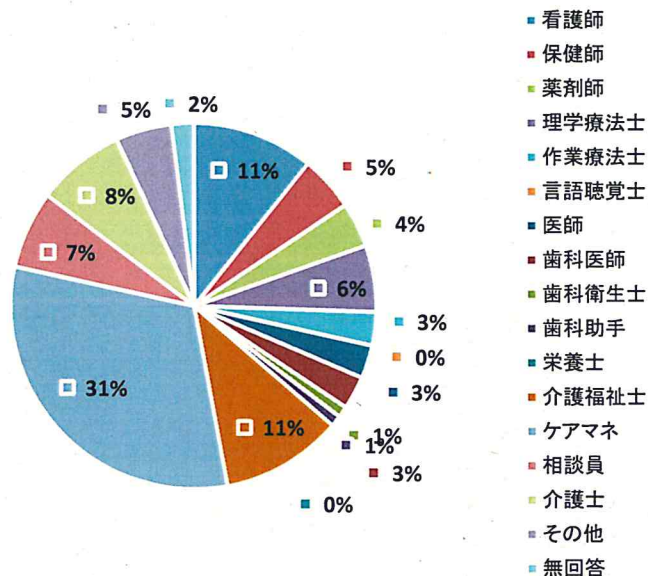
男性	17
女性	83
無回答	2
	102



【主職種】

看護師	11
保健師	5
薬剤師	4
理学療法士	6
作業療法士	3
言語聴覚士	0
医師	3
歯科医師	3
歯科衛生士	1
歯科助手	1
栄養士	0
介護福祉士	11
ケアマネ	32
相談員	7
介護員	8
その他	5
無回答	2

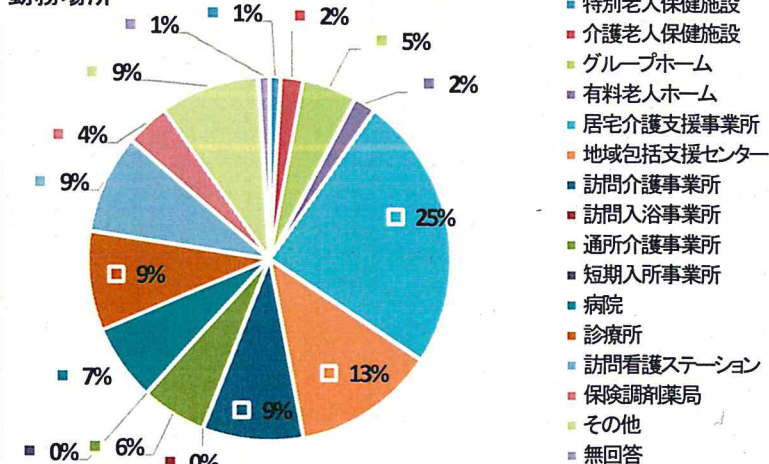
主職種



【勤務場所】

特別養護老人ホーム	1
介護老人保健施設	2
グループホーム	5
有料老人ホーム	2
居宅介護支援事業所	25
地域包括支援センター	13
訪問介護事業所	9
訪問入浴事業所	0
通所介護事業所	6
短期入所事業所	0
病院	7
診療所	9
訪問看護ステーション	9
保険調剤薬局	4
その他	9
無回答	1
	102

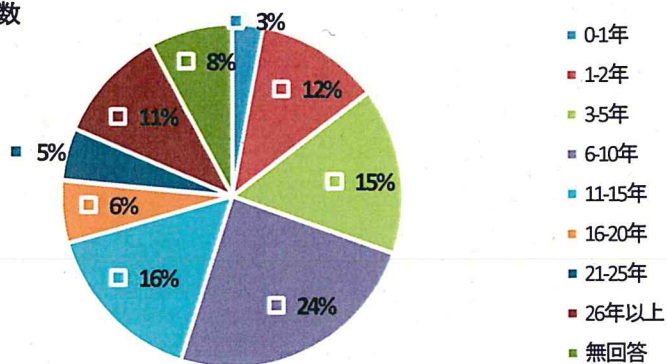
勤務場所



【経験年数】

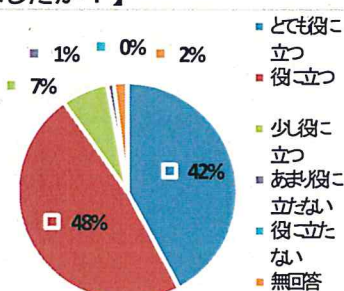
1年未満	3
1-2年	12
3-5年	16
6-10年	25
11-15年	16
16-20年	6
21-25年	5
26年以上	11
無回答	8
	102

経験年数



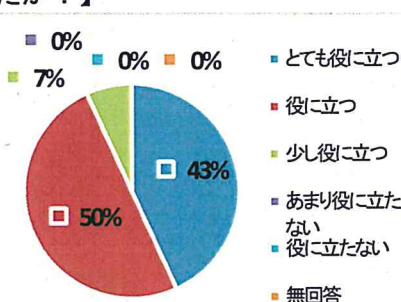
【1. この研修会は、
全体的に役立ちましたか？】

とても役に立つ	43
役に立つ	49
少し役に立つ	7
あまり役に立たない	1
役に立たない	0
無回答	2
	102



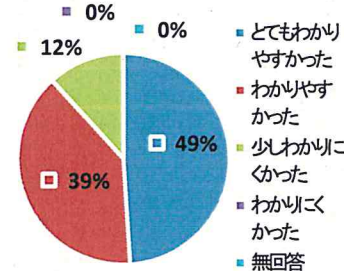
【2. 特別講演「在宅医療での多職種連携の経験」
は役に立ちましたか？】

とても役に立つ	44
役に立つ	51
少し役に立つ	7
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	0
	102



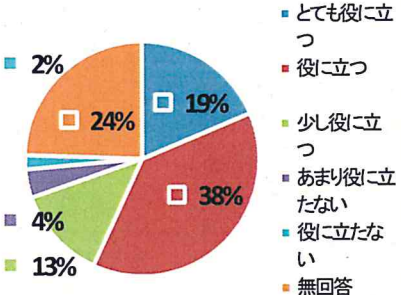
【特別講演「在宅医療での多職種連携の経験」は
わかりやすかったですか？】

とてもわかりやすかった	50
わかりやすかった	40
少しわかりにくかった	12
わかりにくかった	0
無回答	0
	102



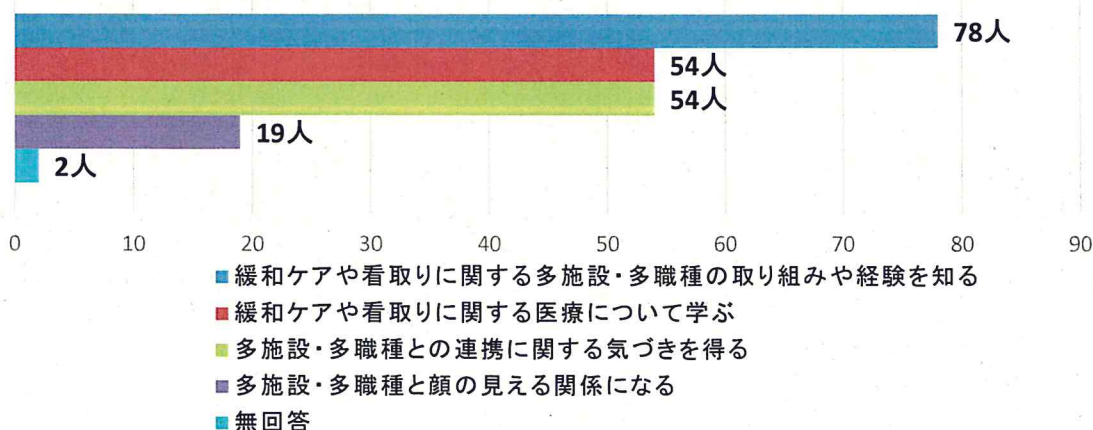
【フリーディスカッションは、
役に立ちましたか？】

とても役に立つ	19
役に立つ	39
少し役に立つ	13
あまり役に立たない	4
役に立たない	2
無回答	25
	102



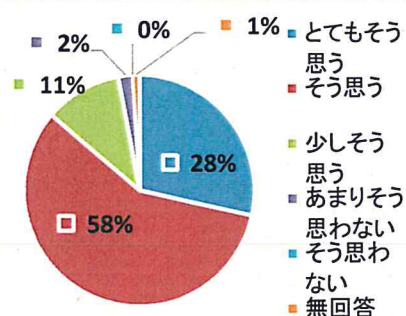
【「緩和ケアを学ぼう会」は、あなたにとってどのように役立つと思いますか？】(複数回答あり)

「緩和ケアを学ぼう会」はどのように役立つと思うか？(複数回答)



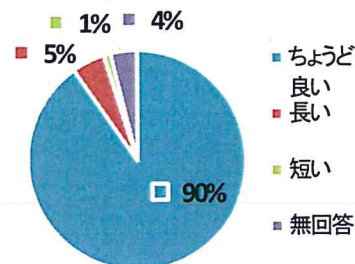
【この研修会に今後も参加したいですか？】

とてもそう思う	29
そう思う	59
少しそう思う	11
あまりそう思わない	2
そう思わない	0
無回答	1
	102



【研修会の時間はどうか？】

丁度良い	92
長い	5
短い	1
無回答	4
	102



§ ご意見・ご感想など自由記述 §

- 在宅後の患者さんの状況、特に在宅後の連携が具体的にわかり良かった。在宅後どのように患者さんが地域で生活しているか知ることによって今後の退院支援につながると思う(病院 看護師)
- 最後の症例は続行中なのですがよく根気よく患者につき合ったものだと思います。看取り以外にも訪問の例もあるのだと多くの人が関わることで(本人、家族だけでなく)医療に関わることでお互い励まし合っていけるのだなあ、と、利点を得ました。(薬局 薬剤師)
- 石橋先生の地域に基づいた医療の実践と多職種と根気強い支援、患者家族ののぞむ支援をされているあり方を尊敬の気持ちでお話を伺いました。ありがとうございました。(病院 医師)
- 緩和ケアの貴重な経験を聞かせていただき、視野が広く持てるようになりました(通所介護事業所 相談員)
- 多職種が連携できることで、支援の幅が広がることを改めて感じた(訪問看護ステーション OT)
- 石橋先生のお話を直におききすることができて良かったです。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- 自宅で家族に看取りされたことの素晴らしさ、関係者の連携と信頼があったからだと思う。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- ヘルパーに関してはNet4Uを利用することはできないですが、ケアマネを通して普段の支援中の疑問や不安を解決していただける事、恵まれていると感じています。できるだけ利用者へのかかわりの中で、多職種連携して安心して在宅で生活していけるよう努力していきたいと思います。緩和ケアとしてヘルパーがどれだけのことができるのか、何を考えていけばよいのか、勉強させていただきました(訪問看護事業所 看護師)
- 多職種連携でご本人様やご家族様に寄り添っていく大切さを感じております。主治医の先生にすぐに相談に行ける関係性はますます必要になっていくのかと思っております。上手に構築していけたらと、痛感しました。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- 在宅緩和ケアを行う家族を支える立場として関わる機会があり、その時のことを思うと、今回の研修は大変勉強になりました。利用者、家族の意向に添った支援を心がけていきたいと感じました。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- 事例を通して緩和ケアの意義や支援の方法などについての話をきかせていただき大変勉強になりました。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- 在宅医療の在り方をつくづく考えさせられました。荘内病院も在宅医療のようにみんなから信頼を受けられる病院になってほしい。(通所介護事業所 介護福祉士)
- ディスカッションは研修を深める上で極めて重要と思われます。ただし質問することはハードルが高いと思いますが、資料に番号を振って、その番号で当てて発言してもらうのも活性化につながるのではないのでしょうか。(歯科診療所 歯科医師)
- 主治医の往診は、本人にとっても家族にとっても心強いと思います。専門医の往診もお願いできれば在宅生活のかてになります(居宅介護支援事業所 ケアマネ)

- ◎ 自分たちの地域に根ざした業務を聞ける場合は日常に活かすことができ身近に感じることができます。(事務職)
- ◎ Net4Uは使ったことがないので身近に感じられなかった。(地域包括支援センター ケアマネ)
- ◎ 歯科医との連携の取り方(担当者会議や多職種同行診察など)先生の地域での緩和ケア、患者さんを診る姿勢にならい、多職種がうまく連携しているのだと思いました。和泉先生のぎくしゃくを取る＝緩和ケア。納得いたしました(診療所 歯科医師)
- ◎ 連携の詳細が分かりました(地域包括支援センター 相談員)
- ◎ 他職種と連携することの大切さを学びましたありがとうございました。(調剤薬局 薬剤師)
- ◎ 専門用語が多く、わからないところもあったが、このように多職種が連携しているということがわかり、今後に役立ちそうだなと思いました。(訪問介護事業所 介護士)
- ◎ 現在は介護予防事業の支援業務に従事してます。臨床現場からは離れている今ですが。今後の介護予防事業の日々の業務に活かしていきたいと思います(市行政 看護師)
- ◎ 身体的な痛みだけを取り除くのではなく、本人や家族、様々な職種との連携のもと、負担を減らしいかに本人が望むようなケアができるか色々な意見が出、本人の病気だけと向き合うのではなく心身共に痛みを取り除くのだと思います。とても勉強になりました。(訪問介護事業所 介護士)
- ◎ 鶴岡にこんなに親身になって考えてくださるドクターが少ないように思えます。(個人の考えですが)ケアマネからはドクターの顔がよく見えないので担当者会議への参加も少ないです。(照会のみで)羨ましく聞きました。(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- ◎ 症例を何点か紹介していただきましたが、精神面に関する深いところの関わりや、具体的な事例もあったら良かった(ターミナルの方の)。前半は医療についてが種だったので少し難しかった。(訪問介護事業所 介護士)
- ◎ 専門用語が多く、理解が飛び飛びとなってしまいました。緩和ケアは家族も含めた連携が大事だとあらためて考えさせられました(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- ◎ 地域で生活している高齢者や障害者、様々な病気を抱えている人すべてを知り把握することは難しいと思っていましたが、ドクターと連携し、本人の思い聞き取り意向に添える看護、介護の皆様、素晴らしいと感じました。(地域包括支援センター ケアマネ)
- ◎ 緩和ケア医や在宅主治医との連携が大事だと思った(地域によって差が出なければいいと思うが・・・)環境をしっかり整えられるか、Net4Uが有効活用できるかが在宅での看取りが今後さらに可能になるのかなと思った。(地域包括支援センター 相談員)
- ◎ 多職種がそれぞれの専門性を活かせるように、また力が出せるように、“伝える力”をつけていくことが必要であるということを感じきとして得ることができました。ありがとうございました。(訪問看護ステーション OT)
- ◎ 事例を聞かせていただくことは、本当に勉強になりました。特に医師側の視点で多職種との関わりが聞けるということは多職種協働に対しての福祉職の敷居がなくなると思われた。医師はリーダーなので。(行政保健師)
- ◎ Net4Uはとても活用されていることが分かった。本人の希望を聞いて最期までケアをしていけるのは凄いなと思った。石橋先生の思いと先生のもとにみんなでささえていこうとする思い、緩和ケアはチームが一丸となってことに頭が下がりました。(歯科診療所 歯科助手)
- ◎ 今後在宅医療、在宅介護の需要が高まることが予想される中で、多職種連携についての具体的な例を聞くことができました。私は支援を受けるまでの窓口であり、初めに関わる職種になるので、改めてアセスメント力の大切さや、他職種がどんな仕事をしているのかを知ることの大切さを知った(地域包括支援センター 保健師)

- 自分の仕事に対して振り返るよい機会となった(訪問看護ステーション PT)
- 在宅・施設、今後看取りの場が増えてくると思いますが、施設入所の方で、自宅で最期を！と考える方をどう対応したら良いのか、主治医にはどうお願いしたら良いのか？教えてもらいたい。(特別養護老人ホーム 介護福祉士)
- Net4Uを活用し、医師との情報共有をし、より良い支援に繋がっていききたい(居宅介護支援事業所 ケアマネ)
- 今は通所リハビリであり関わりはないが今後リハビリ職としてどのように関わっていくべきか参考になりました(介護老人保健施設 PT)
- まさしく地域に密着したサービスだと改めて感じました。本人の思い、家族の思い、すべてがうまく交わるようにサポートする仕組みがあるのは何より素晴らしく羨ましい。(行政 事務)
- 関わった職種の方々から、それぞれの発表があっても良かったと思う。とても素晴らしかったです(病院 看護師)
- 石橋先生本当ありがとうございました。大変ためになり、忘れていた気持ちに気づかされました(グループホーム 介護福祉士)

「緩和ケアを学ぼう会」の様子



次回は 平成28年2月24日(水)に開催します。